

令和3年2月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

下条 博文 議員

◇教育のデジタル化推進について

本年度から始まる小中学校におけるG I G Aスクール構想について、教員のデジタルリテラシー格差の認識とその対応策を伺いたい。

(教育長答弁)

I C Tに関する知識や経験の差から、苦手意識や不安感を持つ教職員は、一定程度いるものと考えております。そこで、県教育委員会では、教職員の不安を軽減するため、これまでに2本の研修動画を配信するとともに、企業の協力を得ながら基本的な端末操作に関する研修機会を提供してまいりました。

また、苦手意識や不安を感じる教職員がいる一方、コンピュータ操作が得意でI C Tの活用に前向きな教職員もいることから、学校長の適切な指導の下、教職員がチームワークを発揮し、学校全体で取り組んでいくことが大切であると考えております。

さらに、G I G Aスクール構想は、I C Tを活用し、子供たちの主体的な学びの充実を図るものであり、学校全体で授業の在り方を見つめ直すきっかけになるものと考えております。

今後、県教育委員会では、各学校において、すべての教職員が意欲的に、且つ、組織的にG I G Aスクール構想の実現に取り組んでいけるよう研修機会等の工夫に努めてまいりたいと考えております。